

第19回滋賀県施設・学校合同企画展 ing…

～障害のある人の進行形～



ボーダレス・アートミュージアムNO-MAが開館した当初から続く「滋賀県施設・学校合同企画展 ing… ～障害のある人の進行形～」は、今回で19回目を迎えます。

滋賀県内の福祉施設・特別支援学校の職員とNO-MAが実行委員会を組んで展覧会を企画し、33名による作品を展示します。作者の表現に迫ろうと考えを巡らし、思いを馳せ、また、議論を交わすことで構成された展示空間には、作者が制作に向き合う、あるいは支援員と関わりあう時間が凝縮されています。作者や支援員・教員の今を綴った、現在進行形の表現をご覧ください。



実行委員会の様子



昨年度の展示風景

展覧会概要

会 期 前期：2022年(令和4年)11月26日(土)～12月25日(日)

後期：2023年(令和5年)1月7日(土)～2月5日(日)

会 場 ボーダレス・アートミュージアムNO-MA (滋賀県近江八幡市永原町上16)

開催時間 11:00～17:00

休 館 日 月曜日(祝日の場合は翌平日)

観 覧 料 一般200円(150円) 高大生150円(100円)

※中学生以下無料、障害のある方と付添者1名無料 ()内は20名以上の団体料金

主 催 第19回滋賀県施設・学校合同企画展実行委員会、
ボーダレス・アートミュージアムNO-MA 社会福祉法人グロー(GLOW)～生きることが光になる～

後 援 滋賀県、滋賀県教育委員会、近江八幡市、近江八幡市教育委員会

協 力 近江八幡観光物産協会、社会福祉法人しみんふくし滋賀、マエダクリーニング仲屋店

助 成 障害者芸術文化活動支援センター運営補助金(滋賀県)

【問い合わせ / 掲載用写真貸出・取材】

社会福祉法人グロー 法人事務局芸術文化部(ボーダレス・アートミュージアムNO-MA)

担当:御代田、赤澤 〒521-1311 滋賀県近江八幡市安土町下豊浦4837-2

TEL:0748-46-8100 FAX:0748-46-8228 MAIL:kikaku@glow.or.jp

出展施設

〔前期〕 あうとリーち和泉／あそしあ／アトリエヲト／伊香立の杜 木輝／えがお／近江学園／信楽青年寮／信楽学園／障害者支援事業所いきいき／慈円／ステップアップ21／第二出会いの家／能登川作業所

〔後期〕 愛育苑／きらり／湖南ダンスワークショップ実行委員会／さくらはうす／滋賀自閉症研究会たんぼぼ／社会就労センターあおぞら／じょいなす／第2ももスマイル／にっこり作業所／バンバン／ひのたに園／ふくらの森／八日市養護学校

〔協力施設〕 しあわせ作業所、彦根学園、瑞穂

〔アドバイザー〕 野原健司（美術家）

出展者紹介（広報画像用）

チラシに掲載している作者のみ紹介しています。

【前期】

① ヒロキシー（アトリエヲト）

今回の作品は1ヶ月以上をかけて、色の重ね合い、そして終わりを設定しない無限の自由の中で生まれた。彼は世の中の動向や自分の置かれる環境変化に非常に敏感で、彼の気持ちは常に揺れ動いている。長い制作時間をかけた作品の中に、時には希望を表現し、時には憂いの色を塗り重ね、彼自身の気持ちを吸収する様に表現されている。



「花とスマイル」2022年

② 西堀正利（信楽青年寮）

彼は仕事の時間以外にも、みんなが集まる食堂で利用者さんや職員の顔を書いている。また仕事に向かう際は大好きなおかずの雑誌とスケッチブックの入った大きな鞆を持ち出かける。彼の絵は人物や風景画や腕時計などが多くみられ、特に女性の目は大きく、まつ毛が長い。風景画も1つ1つの線がはっきりとした彼独特の表現である。



「NISHIBORI art」2019年

③ K・Y（慈円）

「慈円」が実施している毎月の企画「粘土で自由に表現しよう」に小学校一年生の夏休みからほぼ毎月参加。恐竜や爬虫類や怪獣が大好きな彼は毎回粘土でそれらを作っている。初めて作った2作品は釉薬をかけて本焼きした。そのあとの作品は素焼きしたものに絵の具を塗っている。小学校二年生になった今も作り続けている。



「サバージアクロ」2022年

④ 大林秋義（障害者支援事業所いきいき）

普段の彼は、口数は少なめで大勢の人がいる場所はあまり得意ではない。仲間と一緒にいるのが好きで、話すのが好き。相手が笑っているのを見るのも好き。人と近づきたい、けれど近づきすぎるのは怖い。そんな誰もが感じたことのある葛藤が、いつも彼の中に存在する。迷いなく描かれる彼の絵からは、どこかユーモラスながら情熱的な印象を受ける。「人との繋がりに憧れる」そんな彼の内面が絵となって描かれているからではないだろうか。



「夏」2022年

【後期】

⑤ 藤野寛（社会就労センターあおぞら）

題材となる季節の植物を、手の感覚とかつて見えていた頃の記憶を頼りに感じ取る。ゆっくり時間をかけて触り確かめた後に、支援者が「何色にしますか？」と声をかけてクレヨンや色鉛筆を渡す。彼は頭の中に桜やイチヨウを思い浮かべながら、ひたすらクルクルと手を動かし、おもむろに「できた！」と時に元気よく、時に静かに筆を置く。おしゃべりが好きで温厚な人となりの作者らしい、軽やかな運筆と色彩で画面に柔らかな躍動感が生まれる。



「お花」2021年

⑥ 西麻美（愛育苑）

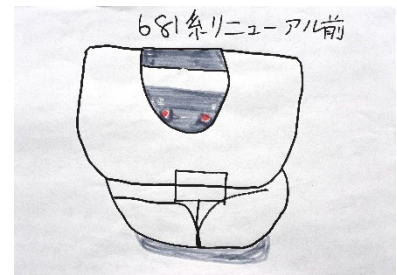
季節の移り変わりは、咲いている花や、落ち葉を見てハッキリと分かる時もあるが「いつのまにか」とぼんやり気が付くこともある。この作品は季節の変わり目を「ハッキリ」と「いつのまにか」の両方を表現している。「春はさくら」。「夏は花火」。「秋はもみじ」。「冬は雪」。と四季折々の特徴を絵具中心に、折り紙やテープで表した。



「四季」2022年

⑦ 山田悠人（じょいなす）

作品作りの時間に、特急や急行列車のヘッドマークや、電車の顔、窓からの風景を描いている。図書館で借りた電車図鑑を参考にして絵を描いており、自分の絵でも電車図鑑を作りたいと意気込んでいる。使う素材は紙と水性マーカーのみ。形や色、ライトなど細かな特徴にもこだわって描いた電車の絵である。現在と過去のマークの違いや、車両形式の変化を比較している。



「JR」2022年

⑧ 西村真智子（バンバン）

彼女は描く前に「何を描こう?」とすら考えていないのかもしれない。丸や四角といった形や幾何学模様、大きな丸い顔、魚や、家や乗り物など、彼女の描く線はあっという間に形を形成し、絵の具やパステルでカラフルに彩られ、紙上はユニークな世界で埋め尽くされてゆく。描かれるひとつひとつに無邪気な愛しさを感じさせ、また時には海の底で佇んでいるような静けさを感じさせる絵もある。



無題 2014年

⑨ 山田昌枝（湖南ダンスワークショップ実行委員会）

トリックスターとは、神や自然界の秩序を破り物語を展開する者。2017年秋、フランス・ナント市で公演することになり、この衣装を新調した。湖国の箆笥に眠っていた大量の古い反物から、1人1人が布を選び、彼らの身体から繰り出される動きを丁寧に観察して縫製した。日本の古き良き着物の形を残しながらも、どんな動きにもフィットし脱ぎ着しやすいユニバーサルデザインとなっている。



「湖のトリックスター」2017年

展覧会関連コンテンツ

ギャラリートーク

作者や支援員によるギャラリートークを実施します。

前期：2022年11月26日（土） 13：30～15：00

後期：2023年1月7日（土） 13：30～15：00

■本展における情報保障について

「さわって楽しめるものがある?」「これが苦手なんだけど大丈夫?」「静かにしなくてもいい?」など、気になっていることや必要なサポートについて、合理的配慮の観点からできるかぎりの情報提供やスタッフによる対応を行います。

詳しくはHPをご覧ください



■本展における新型コロナウイルス対応について

来場される方には、以下の対応をお願いします。

- ・体調不良（発熱・咳・咽頭痛・味覚障害などの症状）の方はご来場をご遠慮いただきます。
- ・マスク着用、こまめな手洗い、アルコール等による手指消毒をお願いします。
- ・観覧中は、他の人と接触しない程度の間隔を確保してください。（障害のある方などの誘導、介助を行う場合は除きます）
- ・来場者が多い場合は、入場を制限させていただくことがあります。
- ・大きな声での会話はご遠慮いただきます。

主催者として、以下の新型コロナウイルス対策を徹底します。

- ・スタッフは毎日、検温・体調確認を行い健康管理に努めます。
- ・スタッフはマスク着用の上で案内します。また、こまめな手洗いをを行います。
- ・館内のドア、手すり、トイレなど、手を触れられる箇所の消毒を強化します。
- ・館内は密閉した空間にならないよう、定期的に換気を行います。

広報用画像申込書

社会福祉法人グロー 法人事務局芸術文化部
(ボーダレス・アートミュージアムNO-MA) 広報宛
FAX : 0748-46-8228

本展覧会広報用素材として、作品画像を用意しております。

ご希望の際は下記申込用紙に必要事項をご記入の上、FAXまたはメールにてお申し込みください。

なお、写真の使用に際し、以下の点をご確認ください。

- (1) キャプションは、作家名、作品名、制作年を必ず表記ください。
- (2) 作品のトリミング、文字載せはお控えください。
- (3) 本展記事をご紹介いただく場合には、恐れ入りますが情報確認のための校正、掲載誌（紙）、DVD、CD等をお送りください。

媒体名：

『 _____ 』

種別： TV ラジオ 新聞 雑誌 フリーペーパー
ネット媒体 携帯媒体 その他

発売・放送予定日：

御社名：

ご担当者名：

Eメールアドレス：

@

(〒 _____)

ご住所：

お電話番号：

FAX：

ご希望の図版番号に✓をおつけください。

<input type="checkbox"/>	①ヒロキシ	「花とスマイル」	2022年
<input type="checkbox"/>	②西堀正利	「NISHIBORI art」	2019年
<input type="checkbox"/>	③K・Y	「サバージアクロ」	2022年
<input type="checkbox"/>	④大林秋義	「夏」	2022年
<input type="checkbox"/>	⑤藤野寛	「お花」	2021年
<input type="checkbox"/>	⑥西麻美	「四季」	2022年
<input type="checkbox"/>	⑦山田悠人	「JR」	2022年
<input type="checkbox"/>	⑧西村真智子	無題	2014年
<input type="checkbox"/>	⑨山田昌枝	「湖のトリックスター」	2017年

【問い合わせ / 掲載用写真貸出・取材】

社会福祉法人グロー 法人事務局芸術文化部 (ボーダレス・アートミュージアムNO-MA)

担当：御代田、赤澤 〒521-1311 滋賀県近江八幡市安土町下豊浦 4837-2

TEL : 0748-46-8100 FAX : 0748-46-8228 MAIL : kikaku@glow.or.jp